

平成20年10月16日
於
府中市立教育センター

平成20年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成20年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成20年10月16日(木)
午後1時30分
閉 会 平成20年10月16日(木)
午後2時36分
- 2 会議録署名員
委 員 新 海 功
委 員 崎 山 弘
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
教育長 新 海 功
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 糸 満 純一郎 文化スポーツ部長 大 野 明
教育部副参事 酒 井 泰 文化スポーツ部次長 齋 田 文 雄
総務課長 三ヶ尻 秀 男 文化振興課長 後 藤 廣 史
総務課長補佐 河 野 孝 一 文化財担当副主幹 英 太 郎
学校耐震化等推進 宮 本 正 男 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志
担当主幹 図書館長補佐 矢 部 隆 之
学務保健課長 田 中 陽 子 美術館副館長 石 井 順 子
給食担当副主幹 新 藤 純 也
指導室長補佐 佐々木 政 彦
指導室副主幹 師 岡 政 行
統括指導主事 花 田 茂
指導主事 長 田 和 義
指導主事 出 町 桜一郎
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課事務職員 中 嶋 貴 子

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第39号議案

府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

第40号議案

府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 寄付に対する感謝状の贈呈について
- (2) 給食展・大試食会の開催について
- (3) 給食費の改定について（答申）
- (4) 平成21年度社会教育施設の臨時休館日等について
- (5) 府中市郷土の森博物館本館常設展示室リニューアルに伴う2階展示室の閉館について
- (6) 平成20年度平和啓発事業「2008 平和コンサート Vol. 2」の開催について
- (7) 府中市立図書館市民懇談会委員について
- (8) 企画展「第4回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズー色をめぐる冒険」について

第5 その他

- (1) 府中市美術館運営協議会の答申について

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成20年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○委員長（久芳美恵子君） 会議録署名員の選定は、新海委員と崎山委員にお願いいたします。

◇

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

◇

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者が2名おりますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、お願いいたします。

議案審議に入ります。

傍聴の方に申しあげます。第39号議案及び第40号議案、報告・連絡資料7につきまして、資料に個人情報記載されておりますので、資料の配付を省略させていただいております。ご了承ください。

◇

◎第39号議案 府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、第39号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 府中市文化財保護審議会委員の候補者の委嘱についてご説明いたします。

候補者氏名、住所、年齢、専門分野は、資料に記載のとおりでございます。

委員委嘱の根拠は、府中市文化財の保存及び活用に関する条例の第48条、審議会は委員10人以内をもって組織する。第49条、委員及び臨時委員は、文化財に対し広くかつ深い識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。第50条、委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする、という規定によります。

現在、委員1人欠員で9人の構成が、今回の委嘱により定員の10人とし、これまで専門分野の委員がいなかった部門の委員として就任をいただくこととなっております。

新任の方に前任者はおりませんが、さきの条例の規定によりまして、任期は他の委員と同様に平成21年9月30日といたします。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 説明が終わりましたが、何かご質問ございますでしょうか。

今回は、今まで専門の方がいらっしゃらなかった分野に、新しく委員を立てるということでございますね。はい、谷合委員、お願いします。

○委員（谷合隆一君） 新しい候補者の方の簡単な略歴を教えてくださいませんか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 略歴につきましてご報告させていただきます。東京芸術大学大学院美術研究科を修了され、文化庁文化財保護部美術工芸課文部技官としてご活躍の後、東京国立博物館資料部主任研究官、また、跡見学園女子大学文学部に勤務をされ、現在、大正大学文学部歴史文化学科の教授としてお勤めであります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかに何かご質問等ございませんでしょうか。

特にご意見がないようですので、それでは第39号議案、府中市文化財保護審議会委員の委嘱について、原案どおり決定をいたします。



◎第40号議案 府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

○委員長（久芳美恵子君） それでは次に、第40号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは、ただいま議題となりました第40号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱につきましてご説明いたします。

本選定委員会は、府中市美術館条例第23条第1項第1号の規定に基づき、美術作品等の収集及び評価について審議するために設置され、その委員につきましては教育委員会が委嘱するものでございます。

本選定委員会の委員の委嘱につきましては、同条例第23条第1項第2号の規定に基づき、学識経験を有する者6人以内で、記載のとおり6人の委員の方々でございます。

なお、選定委員会委員の任期は、同条例第23条第1項第3号の規定により2年でございまして、平成20年11月1日から平成22年10月31日までの期間でございます。

なお、6名の方全員が再任でございます。

そして、本選定委員会は、同条例施行規則第16条第1項の規定に基づき、美術館における美術作品等の収集につきまして、館長の諮問に応じて審議し、答申をいただくことになっております。

以上、美術品収集選定委員の委嘱に関する説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ご説明が終わりましたが、何かご質問等ございますでしょうか。美術品収集の選定をする委員会の委員でございます。よろしいでしょうか。

それでは、第40号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱につきまして、全員異議がございませんので、原案どおり決定といたします。



◎寄付に対する感謝状の贈呈について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）について、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（河野孝一君） ただいま議題となりました寄付に対する感謝状の贈呈につきまして、資料1によりご説明いたします。

本件の寄付は、記載のとおり府中市立日新小学校に対するものでございます。

寄付品は、テント1式及び紅白幕2帳で、総額で20万5,605円相当でございます。

寄付者は、府中市立日新小学校創立30周年記念事業実行委員会及び同校PTAからでございます。受領日は平成20年8月26日でございます。

今回の寄付につきましては、府中市教育委員会表彰規定等による感謝状贈呈の対象となりますので、感謝状を贈呈したいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) 感謝状の贈呈についてでございますが、いかがでございましょうか。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

寄付をしていただけること、大変ありがたいことで、学校は有効に活用していただけるものと思います。

それでは、報告・連絡(1)寄付に対する感謝状の贈呈について、了承いたします。



◎給食展・大試食会の開催について

○委員長(久芳美恵子君) 次に、報告・連絡(2)につきまして、学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹(新藤純也君) それでは、ただいま議題となりました給食展・大試食会の開催について、資料2に基づきご説明いたします。

1の趣旨ですが、本事業は、給食センターで提供している「安全でおいしい給食」について、より多くの保護者や市民に試食や体験をしていただくことにより、学校給食についての理解を広め、食への興味や関心を深めるため実施するものでございます。

2の内容は、次の(1)から(6)のとおりでございますが、今回から大試食会につきまして、500食増の1,500食とするなど拡大を図っております。また、当日の混雑を緩和するため、10月18日、土曜日に試食券の前売りを市政情報センターで行うものでございます。

3の周知でございますが、市民への周知は10月11日発行の「広報ふちゅう」に記事掲載いたしました。また、市立小・中学校の児童・生徒、保護者へはチラシを配布しました。さらに各文化センター、市内幼稚園、保育所にはポスター掲示を行いました。

4の日時でございますが、平成20年10月25日、土曜日、午前10時から午後3時まで、大試食会は午前11時から午後2時まででございます。

5の場所でございますが、第一学校給食センターでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。大試食会につきまして、ご質問、ご意見等ございますか。はい、どうぞ、谷合委員。

○委員(谷合隆一君) 私は昨年、参加させていただきました。昨年は天候が悪かったように記憶しています。今回は500食増やして1,500食ということですが、足りなかったからこういうふうになったのか、どのぐらい希望者がいたという昨年の状況を教えていただけないでしょうか。

○委員長(久芳美恵子君) はい、お願いいたします。

○学務保健課長(田中陽子君) 昨年は本当に台風が接近いたしまして、雨天の中だったので、朝の8時ぐらいから食券を求める人が並んでいまして、給食に興味を持っていただい

いるのを非常に強く感じました。

○委員長（久芳美恵子君）　そうですね。大変人気がある催し物だというふうにも思っておりますが、それと、試食会にいらした方への緊急事態への対応についても、ぜひよろしく願いいたします。お天気に恵まれるといいですね。

特にほかに何かご意見ございませんでしょうか。

それでは、報告・連絡（２）給食展・大試食会の開催について、了承いたします。



◎給食費の改定について（答申）

○委員長（久芳美恵子君）　次に、報告・連絡（３）について、同じく学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹（新藤純也君）　それでは、学校給食費の改定について、９月３０日に府中市立学校給食センター運営審議会から答申が出されましたので、ご説明いたします。

府中市の学校給食費は、平成１０年９月に改定し、１０年が経過しておりますが、昨今の外国産食材問題、国際的な原油高の影響などにより、国内産の食材の価格が高騰し、給食運営が大変厳しい状況となっております。そこで、平成２０年６月２０日に教育長から同審議会に、適正な学校給食費について諮問いたしました。同審議会が３回にわたり慎重に審議した結果、教育長に対し、別紙３のとおり答申を出されたものでございます。

答申は１ページから６ページまでの本文と、資料１からなっております。今後はこの答申をもとに検討をし、改めて改定額等についてお諮りしたいと存じます。今回は、運営審議会から答申があったことについてのご報告とさせていただきます。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君）　今回は、改定をするということではなくて、答申があったことの報告ということでよろしゅうございますか。はい。１０年間、給食費が据え置きであって、昨今の状況でやむを得ないのではないかという形の答申ですが、改定のことにつきましては、いつごろの議題に上がる予定でしょうか。

はい、お願いします。

○給食担当副主幹（新藤純也君）　改定額につきましては、国内の食材の高騰や、府中市の補助金等のあり方等とあわせて、検討しているところでございます。こちらの委員会には、１２月ごろにお諮りしたいと考えております。

○委員長（久芳美恵子君）　適正な額の改定の方向で出していただけるものと思います。

はい、お願いいたします。

○委員（新海 功君）　それでは、念のためということで、確認しておきます。先ほどありましたように、これは６月２０日に教育長から、まず適正な学校給食費についての諮問をさせていただきました。そして、非常に公正な立場で慎重に審議していただいて、この答申書を９月３０日にいただきました。今後につきましては、この答申を尊重する形で改定額等を検討して、その方向を出していくということになりますので、そのときにはまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君）　今、ご説明がありましたとおりでございます。

それでは、報告・連絡（3）給食費の改定についての答申、了承いたします。



◎平成21年度社会教育施設の臨時休館日等について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（4）について、文化振興課、お願いいたします。

○文化振興課長（後藤廣史君） それでは資料4に基づき、社会教育施設の来年度、平成21年度臨時休館日等についてご報告いたします。

この臨時休館は、各施設の保守点検、施設改修等に伴い、設置するものでございます。各施設では数カ月前より予約等が入りますので、早目にご報告するものでございます。

まず生涯学習センターでございますが、定例の休館日は第1月曜日、第3水・木曜日でございますが、このほかに記載の9月23日、2月11日が臨時休館となります。

郷土の森博物館は、毎週月曜日の定例の休館日のほかに、記載の臨時休館日を設けます。また、7月の夏休み、2月、3月の梅まつりの時期に臨時開館日を設けます。

次に、総合体育館及び押立体育館ほか五つの地域体育館でございますが、第1、第3、第5月曜日の定例の休館のほかに、記載の臨時休館日となります。朝日体育館は記載のとおりでございます。

図書館でございますが、中央図書館、地区図書館11館、そして生涯学習センター図書館は記載のとおりですが、宮町図書館につきましては、(仮称)ふるさと府中歴史館建設工事に伴い、7月から年度内休館となります。また、四谷図書館は、改修工事のため6月14日まで休館いたします。

最後に美術館でございますが、ただいま来年度の企画展計画の最終協議を行っておりますので、企画展が計画でき次第、展示替え、準備等の臨時休館を決定いたしまして、次回以降のこの定例会で報告する予定でございます。

よろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 臨時休館日等についてのご説明でございますが、ご意見、ご質問ございますでしょうか。ございませんか。いずれも保守点検、改修のための臨時休館ということでございますので、必要な休館であるということでございますね。

それでは、報告・連絡（4）平成21年度社会教育施設の臨時休館日等について、了承いたします。



◎府中市郷土の森博物館本館常設展示室リニューアルに伴う

2階展示室の閉室について

○委員長（久芳美恵子君） 続いて、報告・連絡（5）、同じく文化振興課、お願いいたします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 郷土の森博物館本館常設展示室リニューアルに伴う2階展示室の閉室についてご報告いたします。

初めに1の趣旨でございますが、郷土の森博物館本館常設展示のリニューアルのため、子ども歴史街道、体験ステーションの各コーナーを新たに設置いたします。展示物の設置に先立ち、壁面の造作、設置ベースの設置等が必要なため、次の期間、2階展示室を臨時に閉室するものでございます。

次に、2の期間でございますが、平成20年12月1日、月曜日から、平成21年1月3日、土曜日まで閉室します。この臨時休館は、本館2階の常設展示室のみを休館とするもので、園内及びプラネタリウムは通常どおり開館いたします。

最後に、3の周知方法等でございますが、市内各施設に案内ポスターを掲示するほか、「広報ふちゅう」、市及び財団法人府中文化振興財団ホームページ等により市民への周知を図ります。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) 常設展示室の閉室ということのご提案でございますが、いかがでございましょうか。ご質問等ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員(新海 功君) ただいまの件につきまして、10月14日の校長会で文化スポーツ部より報告がありました。このリニューアルのために閉室をするということなのですが、今度、開けてからの話も含めて見直しをもっていないといけません。先般、教育委員会で郷土の森博物館を訪問したときにもこのことは話題になりましたが、校長会の方へも開けてからのことも含めてお願いをいたしました。

現状では、小学校3年生の郷土学習においては、小学校22校のうち1校を残して、有効活用を図っています。それから4年生の、プラネタリウムの方は、これも大方の学校はやっているのですが、3校だけ利用していないという実態がありました。小学校6年生の歴史学習においては、これは3校だけやっていて、あとはやっていないという、そういう状態なので、子ども歴史街道ができ上がったときには必ず利用してもらいたいということでもあります。その利用実態から見て、有効活用のためには、来年度の教育課程の中に、これをちゃんと視野に入れておいて計画をしていくということにしないと、せっかくリニューアルする意味がなくなってくるわけであります。

それから中学生については、「学びのパスポート」を使って、特に1・2年生で歴史と地理を平行する形で学習していくわけですから、そのときに大いに利用してもらいたいということです。

そういう意味を含めまして、利用実態をお話しして、でき上がったときには大いに利用してもらいたいということ、校長会においてお願いをしておきました。

以上です。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

先般、教育委員会訪問で行ったときに、子ども歴史街道と体験コーナーのところも拝見いたしましたけれども、でき上がったら本当に、府中の子どもたちが府中の歴史、またそれを具体的に体験する、いい場ができるのではないかなと印象を持ちました。1カ月の閉室でございますので、ぜひぜひ市民の方々への周知をよろしくお願いいたします。

ご意見は特にないようでございますので、報告・連絡(5)府中市郷土の森博物館本館常設展示室リニューアルに伴う2階展示室の閉室について、了承いたします。

◇

◎平成20年度平和啓発事業「2008平和コンサートVol. 2」

の開催について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、報告・連絡(6)につきまして、生涯学習スポーツ課、

お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは続きまして、生涯学習スポーツ課より平和コンサートについてご報告いたします。

まず1の趣旨ですが、記載のとおり、昭和61年、府中市平和都市宣言の趣旨に基づきまして、音楽を通じて市民の平和に対する意識の高揚を図るために実施するものでございます。

2番以降については、次のピンク色のチラシをお開きください。11月2日、日曜日、府中の森芸術劇場どりーむホールにおきまして、特別ゲストにギター奏者として有名な荘村清志氏をお迎えいたしまして開催いたします。荘村氏は、9歳よりギターを始め、スペインギターの巨匠イエペスに師事し、NHKのギター教室に講師として出演するなど、日本を代表するギターリストとして活躍していらっしゃいます。

ほかに、府中市青少年吹奏楽団による「音楽でつづる平成20年史」と、アメリカ軽音楽の巨匠ルロイアンダーソンの生誕100年を記念した特集を実施いたします。

「広報ふちゅう」、ホームページ等への掲載、また文化センター、各小・中学校等へのチラシの設置、配布などを通じまして、周知しているところでございます。

以上で生涯学習スポーツ課の報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平和コンサートの開催につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

1点よろしいですか。大体、何人ぐらいの方々がおいでいただけるというふうにお考えでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 年によって違うのですがけれども、どりーむホールですと、800人ぐらいは期待しているのですがけれども、年によって多かったり少なかったりということがありますので、はっきりと申しあげることができなくて申しわけありません。

○委員長（久芳美恵子君） はい。私も名前を知っているぐらい有名な方ですので、ぜひ、これが入場無料ということですので、来ていただかないともったいないと思いますので、ぜひ学校も含め、市民の方への周知をよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、報告・連絡（6）平成20年度平和啓発事業「2008平和コンサートVol. 2」の開催について、了承いたします。



◎府中市立図書館市民懇談会委員について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（7）につきまして、図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（矢部隆之君） それでは、府中市立図書館市民懇談会委員について、お手元の資料に基づきご説明いたします。

この懇談会は、府中市立図書館の運営に市民等の意見を反映させるため、設置するものでございます。委員の方々は資料記載のとおりで、その構成は、学識経験者3名、教育関係団体の構成員4名、公募市民3名の、合計10名でございます。今年度内に4回程度開催し、図書館の運営にかかわるサービスのあり方や課題について検討し、その結果をご報告いただくものです。

以上で報告を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 図書館市民懇談会の委員についてでございますが、何かご意見、

ご質問ございますでしょうか。

では、1件お願いいたします。府中市立図書館ということですので、本館だけでなく、すべての分館といたしますか、そこも含めてということをございましょうか。

○図書館長補佐（矢部隆之君） おっしゃるとおりで、府中市立図書館ということで、新たにできました中央図書館のみならず、地区図書館も含めてご意見をいただく予定でございます。

○委員長（久芳美恵子君） そうしますと、その地区、地区でそれぞれの特色というものがあると思うのですけれども、その辺のところにも割と知識というか、通じていらっしゃる方が入っていると理解してよろしいでしょうか。

○図書館長補佐（矢部隆之君） 図書館運営経験者も入れておりますので、その辺の知識についてはお持ちだと聞いております。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかにかがでございましょうか。特にございませんようですので、報告・連絡（7）府中市立図書館市民懇談会委員について、了承いたします。



◎企画展「第4回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ
——色をめぐる冒険」について

○委員長（久芳美恵子君） 続きまして、報告・連絡（8）でございます。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） 美術館から、次回の企画展について報告いたします。チラシの方をご覧ください。

平成20年11月15日の土曜日から平成21年2月1日の日曜日まで、企画展「第4回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ——色をめぐる冒険」を開催いたします。

多摩地域にゆかりのある40歳以下の若手作家を迎えて2年に一度開催する府中ビエンナーレは、第4回目となります。今回はテーマに「色」を掲げ、現代における色の本質に迫りながら、色彩の美を改めて問い直します。雨宮庸介、今澤正など、色彩に強いこだわりを持つ7名の若手作家たちの表現を通じまして、かけがえのない色、トゥルー・カラーを見出す機会を提供いたします。

また、関連イベントとして、出品作家による作品解説やパフォーマンス、来館者への作品理解に努めます。

また、公開制作は、袴田京太郎による彫刻制作や、市とNPOとの協働推進事業による12月13日、土曜日のクリスマスイベント、また芸術劇場との連携による出張コンサートなどを予定しております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。美術館の「ビエンナーレ トゥルー・カラーズ——色をめぐる冒険」についてのご説明でございましたが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

美術館はいろいろな企画を本当にありがとうございます。私もビエンナーレの印象では、前회가とても楽しかったような記憶が残っております。今回、色を中心にとということで、若い方の意欲あふれる作品を見ることができたらと思うし、また、いろいろなイベントも設け

ていただいておりますので、ぜひぜひ子どもたちにも参観してもらいたいなというふうに思っております。

それでは、報告・連絡（8）企画展「第4回府中ビエンナーレ トゥルー・カラーズ——色をめぐる冒険」について、了承いたします。



◎府中市美術館運営協議会の答申について

○委員長（久芳美恵子君） その他、美術館より報告がございますが、どうぞ。

○美術館副館長（石井順子君） それでは資料に基づきまして、府中市美術館運営協議会の答申につきまして、ご報告をいたします。

まず1の趣旨でございますが、府中市美術館条例の規定に基づきまして設置する第4期となります府中市美術館運営協議会（任期：平成18年9月1日～平成20年8月31日）までの4回の会議の結果、答申がございましたので、報告するものでございます。

次に、2の諮問事項は、社会変化に対応した美術館運営のあり方についてでございます。

3の答申内容でございますが、本文では4ページ、資料で2ページとなっております、内容といたしまして、美術館の役割から、美術館への要望、今後の事業の進め方、展覧会や観覧料、開館時間、市民ギャラリー、市民パワーを活用したボランティア、ワークショップなど、さまざまな事柄についての答申となっております。

今後、この運営協議会の答申を十分尊重させていただき、美術館運営に反映してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 府中市美術館運営協議会からの答申があったということで、答申内容につきまして、手元に届いております。これは前文にもありますように、館長の方から、社会変化に対応した美術館運営のあり方ということについて、運営協議会が検討して、この答申を出したということでございますね。

○美術館副館長（石井順子君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） この社会変化に対応した美術館運営のあり方のところで、今回の答申のポイント、目玉、一つ二つはどのようなところにあるか、ご説明いただけるとありがたいのですが。

○美術館副館長（石井順子君） 今回の協議会は第4期目になりますので、それ以前にも第3期がありまして、諮問をし、時宜に応じて答申をいただいているという状況でございます。美術館を取り巻く状況というものも大きな変化があった年でございましたので、2年前にそういった経緯で立ち上げたのですが、社会変化という部分もあるのですけれども、広く府中市の美術館の運営にいろいろな市民の方々からのご提案をとということでございましたので、基本的には、地域に根づいている美術館として、多くの方々にまず来ていただくということを前提として、いろいろな事業展開をしていただきたいということが本音としてはありました。ただ、今、市民の来館者の方々が、おいでいただくという状況は、まだこれからなので、できるだけ来ていただくという工夫をもっともっとやっていただきたいということが答申の内容だと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。本当に私もそのとおりだろうと思います。すばらしい企画を次々とやっていただいておりますが、やはり来てくださる方がいて、それ

が盛り上がるのだらうなと思っておりますので。

ほかにご質問は、はい、お願いいたします。

○委員(新海 功君) 美術館運営というのは、どこの美術館も大変な苦勞をしているところ。一方で企画力をつけて、足腰を強くしていかないといけないという部分と、多くの人に来ていただかなくてはいけないという部分がありますよね。市長は、開館当初から、普段着の美術館ということで、市民に親しまれることを大切にしています。多摩地区においては総合的な美術館というのは、府中市の美術館しかないと言っていい状況なので、大事にしていかなければなりません。

この答申を生かして、今までもいろいろなことをやってきたわけですが、ここに書かれていることを生かしながら、美術館を育てていくということで、私たちもしっかりと見守っていかなければなりません。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

それでは、府中市美術館運営協議会の答申について、了承いたします。ありがとうございます。今、新海委員がおっしゃったように、我々もしっかりサポートしていかなければならないと思っています。



◎教育委員報告

○委員長(久芳美恵子君) それでは、教育委員報告に移ります。よろしく願いいたします。

○委員(北島章雄君) それでは、北島より報告させていただきます。

まず9月21日の第44回市民芸術文化祭開会式典に出席いたしました。ふるさとホールで行われました。牛尾武さんが構成、演出をされて、とてもすばらしい式典でした。

9月28日に、第51回市民体育大会秋季大会開会式へ出席いたしました。多くの選手団が入場いたしました。特に卓球の選手団が、お若い方からお年寄りまで、とても大勢いたのが印象的でした。それと、やはりサッカー、野球は本当に大勢いたなと感じました。また、府中第一小学校のわかば鼓笛隊のマーチングドリル、とてもすばらしかったです。競技場全体を利用したマーチングは、見ている方々に感動を与えたのではないかなと思いました。また、日本体育大学の選手たちが、選手団に対して本当に気合を入れてくれたなと思いました。

10月6日、緑の基本計画検討協議会へ出席いたしました。

10月9日、府中市立小学校陸上記録会へ参りました。大学生の陸上部の方々が、ハードル走、走り幅跳び等のデモンストレーションをし、迫力あるデモを子どもたちが一生懸命見ておりました。

それから10月10日、教育委員会訪問ということで、府中市郷土の森博物館、そして矢崎小学校を見てまいりました。郷土の森の博物館ですが、やはり学習の場として多くの生徒たちに来ていただきたい、生徒たちに配付されている「学びのパスポート」をもっと有益に活用していただきたいということを言っておられました。また、矢崎小学校では校舎内を見学し、耐震化改修工事でトイレの入り口の方に鉄骨ブレス補強がされていたのですけれども、鉄骨を本当に上手に囲ってあって、とてもおしゃれなトイレの入り口になっていたということが印象に残りました。

10月11日、矢崎幼稚園の運動会へ行ってきました。運動会が行われていたのが矢崎

町防災公園で、とても運動会をするのに適しているなと思いました。そこで保護者の方々も一生懸命、競技の準備をしておられるのを見て、とても感心したのと、その保護者の方々、地域社会がお手伝いすることによって、学んでいるのかなという気がいたしました。

以上です。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告します。

9月28日、北島委員、また久芳委員長とともに、市民体育大会秋季大会の開会式に出席いたしました。

10月4日、南白糸台小学校の運動会に顔を出させていただきました。前日から全く天気の心配が必要なく、本当に好天のもとで行われておりまして、子どもたちも練習の成果をいかに発揮しておりました。徒競走の種目のゴールの正面には、特別に保護者のカメラマンの席を学校側で用意をしておりまして、自分のお子さんが走って写真撮影が終わったら、もう次の方に譲るような、そんなアイデアが取り入れられておりまして、大変いいアイデアだなと思いました。また、校長先生のお話では、運動会の前に、運動会に向けて周囲の植栽を校長先生を中心に職員で剪定をしたり、地域の方々をお迎えするという気持ちが十分にあらわれているなということを感じました。

同日の午後、府中第三中学校の、5年に一度開催されます全体同窓会が行われまして、お隣にいる北島委員が同窓会の役員さんですし、田中課長も卒業生ということで、ご一緒したわけですけれども、昨年、第三中学校新校舎竣工の際に、同窓会、またPTA顧問会から学校へいただいた記念品に対しまして、教育委員会からの感謝状を私の方でその場で読み上げさせていただきました。出席者の中には私が教わった先生も参加していらっしやいまして、大変懐かしい思いをさせていただきました。よくよくお話を聞きましたら、その先生も第三中学校の卒業生だったそうで、当時の私は知りませんでしたけれども、11校ある中でも、同窓会で、この日は250名ほど1期生から集まっておりまして、いまだに地域で活躍して、また学校を支えていただいているということを実感いたしました。

10月9日、小学校陸上記録会に出席をしました。午前中はBブロックということで、第十小学校、矢崎小学校、四谷小学校、若松小学校の4校が参加しておりました。先ほどもお話がありました、男子大学生によるデモンストレーションが行われまして、子どもたちはそれを真剣に見ておりました。きっとそれを見て、いつもよりも頑張ったのではないかなと思います。学校のグラウンドとは感触の違うトラックを思いっきり走っていましたが、ある意味、慣れていないのかなというような感じは見受けられました。陸上競技場も大変すばらしい施設なので、市内の児童・生徒がこれからももっと利用する頻度がふえてもいいのではないかなということを感じました。

12日、前日、雨で延期になりましたみどり幼稚園の運動会に行きました。男手が少ないということで、園長先生が大変活躍しておりまして、スターターをやったり、いろいろなことを走り回ってやっておられました。園児たちは全般にまとまっているなという印象です。幼稚園ぐらいの子ですと、一人や二人はみんなのやっていることと違うことをやっているような子がいてもおかしくないのですけれども、全くそういう子が見受けられなかったというのが大変印象的です。先生の指導どおり、しっかりできているなということを感じました。

余談ですけれども、私の予定にはなかったのですが、保護者、来賓の参加する競技に出させ

ていただきまして、トラックを1周走ってまいりました。大変楽しい思いをさせていただきました。ありがとうございました。

以上です。

○委員(新海 功君) 教育長、新海から報告させていただきます。たくさんありましたので、主なものを報告します。

1点目は、9月21日の午後に、府中市バレーボール連盟創立50周年記念事業として、国内最高峰のVリーグで優勝を争い、北京オリンピックの日本を代表する選手を輩出しておりますNECブルーロケッツとサントリーサンバーズ、この2チームの親善試合が府中市総合体育館で行われ、見てまいりました。一番印象に残ったのは、試合前の準備体操などの体ほぐし、かれこれ1時間ぐらいかけてやっているわけでありまして。一人ひとりが、思い思いに入念に体を動かして、チームでまとまってやるまでに、随分時間をかけることに驚きました。選手一人ひとりの試合に臨む、いわゆる心と体の準備の様子、それを見ることができましたが、小・中学生にも大変勉強になったのではないかなと思ったところでありまして。

同じ日、第44回府中市民芸術文化祭の開会式に参りました。この芸術文化際も、回を重ねるごとに市民に親しまれる有意義な行事となっており、ますます充実発展してきていますが、開会式も今年度は、先ほど北島委員からありましたように、牛尾武さんの演出ということで、今までと流れが随分違って非常に見ごたえがあり、よかったですと思います。最後に、実はこれは予期しなかったのですが、「府中市の歌」と「ふるさと」、これをステージの上で議員さんたち等と一緒に歌うことになりました。

3点目、9月28日の日曜日の午前、第51回府中市民体育大会秋季大会の開会式に出席をいたしました。29種目、1万6,425名の参加のもとに開かれたわけでありまして、半世紀を終わって51回目ということで、新たな出発でした。特に府中市とNPO法人府中市体育協会が主催をしているという形になりました。式典が終わった後の公開演技では、府中第一小学校のわかば鼓笛隊のマーチングドリルがありました。毎年毎年、変化を持たせて、芝生の上でドリルをやるということは、大変な取り組みなのだと思いますが、実によくできていたなと思いました。もう一つ、珍しいといえますか、日本体育大学の上半身裸ではだしでという「エッサッサ」という集団体操があり、これも意気が上ってよかったですなと思いました。

4点目は、10月5日の午前中に、若松小学校と白糸台小学校の運動会を視察いたしました。若松小学校も白糸台小学校も教育活動が大変充実してきている学校でありまして、そのあらわれといっただけですけれども、例えば自転車置き場でお世話をしているPTAの方とか、受付に当たられているPTAの方々が非常に親切に、にこやかに対応してくれていて、恐らく私が教育長だと知らない人もいると思うのですが、そういう方が非常に親切に対応してくれました。これは学校を信頼しているからなのでしょうね。学校の教育活動を信頼しているから、そういったところにもあらわれるわけです。係の仕事があつて運動会が見られなくて大変でしょうと言いましたら、私の子どもの出番のときにはかわって、ちゃんと見られる段取りをしていますから大丈夫ですよ、というような明るい答えが返ってきました。お天気も上々で、子どもたちは日ごろの練習の成果を存分に発揮して頑張っていました。練習の成果が子どもの動きにちゃんと出ていたなと思いました。両校とも見ごたえがあったと思います。

5点目、10月9日の午後、府中市立小学校陸上記録会に行きました。私が見る視点という

のは、小学校6年生の子どもの体位と、それから体力、そしてその臨む意気込み、そういったところを特に見たところです。

体位については、やっぱり肥満の子どもに対しては、何か指導していくということが必要なのだろうなと思いました。

それから体力面では、走り幅跳びの助走の間に疲れ切って、次に跳ぶ勢いにする、その部分で、もうちょっと助走を短くしてもいいのになと思ったり、あるいは、いろいろな課題があるのだと思うのですが、日ごろの生活の中に跳ぶという動きが今の子どもにはないのだろうということです。体力面の開発というのは、研究している人によると、人間の体の動きには36通りの動きがあるらしいのですけれども、日ごろの生活の中、あるいは体育の時間のときだとか、学校生活の中で、そういうことを組み立てていく必要があるだろうなということでもあります。体力・運動能力調査というものが小・中全校でやられているわけでありまして、調査だけではだめなので、今度はそれを体力づくりにつないでいくという点が必要なのだろうなと考えているところです。

それから意気込みの点では、第二小学校、第五小学校、第七小学校、第九小学校、小柳小学校の5校だったわけですが、第七小学校以外は特別支援学級のある学校でした。特別支援学級の児童も含めて、それぞれ頑張っていました。一番力が入っているのは、応援をしている校長先生ではないかなと思ったところでもあります。

それから最後、6点目ではありますが、年3回の校長ヒアリングの2回目を、10月6日から10月21日までの間に8回、日を設定して、現在進行中であります。小学校11校、中学校8校が終わったところがございます。特に2回目のテーマというのは、平成20年度授業改善推進プランの実施に伴う面接です。今年度、結果が出ました都の学力調査、それから文部科学省の学力調査等の結果に基づいての授業改善推進プランを立てていただいているわけですが、それについて校長先生と話し合いを持っています。特に学力調査というのは、ねらいとして、一人ひとりの子どもに返すということと、授業を改善するという、この二つがあり、大事なところでもありますので、その点に関して、本市としてはきちんとそういう取り組みをやって、それぞれの校長先生方に二つの視点でご努力いただいているということがございます。

以上です。

○委員(崎山 弘君) 崎山です。2点報告させていただきます。

9月27日、土曜日ですけれども、ちょうどこの部屋で、府中市小・中学生腎臓病健診の経過観察健診というものを行いました。これは医師会と教育委員会と一緒にやっている事業なのですけれども、平たく言えば、小学校、中学校の学校保健医の学校の健診で異常を指摘された人の経過観察健診ということで、9月に実施しているものです。この制度は府中市独自のものです、他市では行われていません。実際、他市では、予算の都合によってなのですけれども、学校の健診で異常があったから、あなたは病院に行きなさいねというだけの通知を出す市もあるわけですね。ただ不安を与えているだけで、子どもたちにとってはあまりメリットのない制度なのですけれども、府中市の場合はそれがちゃんとここまでフォローしている、夏休み明けまでフォローしている。むしろ、ここに来るお父さん、お母さんからは、何でこんなことをやるのだみたいに不満を述べる方もおられるのですけれども、むしろ不満を言うということは、非常に医療関係にとってはいいことなのです。訴えられるわけですから。そうではなくて、不安

のまま病院に行ってしまうというケースが大部分なので、不満を言って、でもそれで、こういうことなのですと不安が解消できてお帰りいただければ、それでいいのかなと思っているのです。私は、医師として、府中市は非常によいことをやっているのではないかなと考えております。

2点目は、10月10日、教育委員会訪問で郷土の森と矢崎小学校に行ってきたわけですが、郷土の森の博物館は、私も小さいころから府中市に住んでおまして、大國魂神社の図書館の奥にあった小さい博物館から見れば、もう格段の違いでありまして、本当にすばらしい博物館だと実感できました。なるべく多くの人に見ていただけるように、市の方も頑張っているらしいと思いますけれども、私も身近な方に、いいところだから行ってごらんないというふうに勧めていこうと考えたところです。

矢崎小学校においては、耐震構造について、今回、詳しく説明がありまして、鉄骨ブレスを廊下の中側につけるという方法で、工夫されて、窓のつけ方が斬新で、いいデザインになっていまして、まるでこういうデザインが初めからあったのではないかなと思うようなところまでできていまして、非常に感心いたしました。また、いただいた給食が肉団子で、これは、非常食で冷凍保存しているものを出してきたとお伺いしましたが、冷凍食品とは思えない、今日つくってきたような形のおいしい肉団子でありました。そういう非常食みたいなものもちゃんとつくってやっているということも感心いたしました。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳より報告いたします。

9月28日の市民体育大会秋季大会の開会式につきましては、各委員からご報告がございましたので、私がちょっと印象に残ったところがございますが、大会に参加されるそれぞれの競技ごとに行進があり、競技別に参加者が何名かというようなご報告もございました。その中で野球が、全部で4,000名を超えるという最大の人数だったのですね。最近では若い人は野球よりもサッカーに人気がある、そういう傾向がありますけれども、やはり全体から見ると、野球の人気というのは深いのだなという印象を持ちました。一言、感想でございます。

10月4日に第一小学校の運動会に参りました。大変いいお天気でしたけれども、校長先生が、第一小学校が最初に予定して、その日にできたのは4年ぶりだというふうにおっしゃっていらっしやいました。間瀬前校長先生もおいでになっていらっしやいましたけれども、ほっとなさったのではないかなと思います。

それで、先ほど谷合委員からの運動会の報告のときにもありましたけれども、保護者の撮影する場所が第一小学校も決められていて、撮影すると、競技が終わったらかわるという設定で場所が決まっておりました。そして、わかば鼓笛隊、いろいろなところで活躍していただいていますけれども、第一小学校の運動会でも、応援にとっても活躍していましたことを報告しておきます。

次に、10月10日の教育委員会訪問でございますが、本当にすばらしい秋晴れのお天気でした。郷土の森の園内、外を歩けなかったことが非常に残念だったのですが、博物館のいろいろな説明を受けまして、さまざまな企画展を考えて、来場者数も増加しているということ、特に府中独自の遺跡とか人物、これは宮本常一がございました。こういう企画が事業の中心にあるということは、非常に誇らしく、うれしいことでございます。

もう1点、多くの博物館ボランティアの方ですね。90の方がいろいろな分野でボランティアとして働いてくださっているというご説明を受けました。ボランティアの方々が得意の分野で活躍していただいているということは、ボランティアの方々の生きがいにもなるでしょうし、また何よりも博物館にとってもありがたいことだと、印象に残りました。

あと、矢崎小学校の耐震化のことは、先ほどお話がありましたが、私も、逆にいいデザインになっているなというふうな印象も同じでございます。給食でございますが、崎山委員がおっしゃっていただいたミートボールというのは、肉の配合の段階から工夫をしてつくり上げた府中ブランドだそうでございます。他市からも問い合わせがあると伺いました。たまたま災害用に使う冷凍の食品、これは唯一の冷凍食品だということですが、それが給食に出るところにめぐり合わせがありまして、いただきまして、本当においしかったので、府中ブランドで売り出してはどうかと思ったところでございます。

以上でございます。

それでは、これもちまして、平成20年第10回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。



午後2時36分閉会